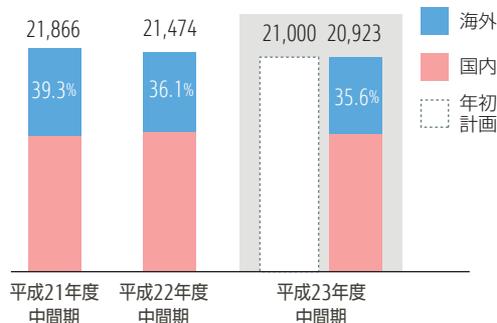
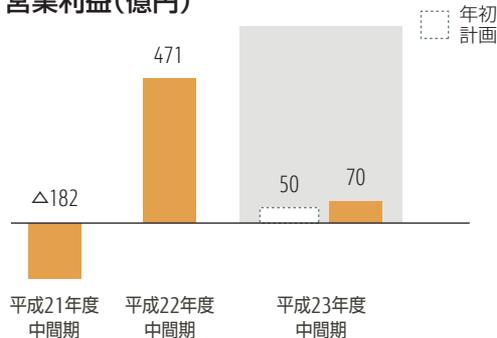


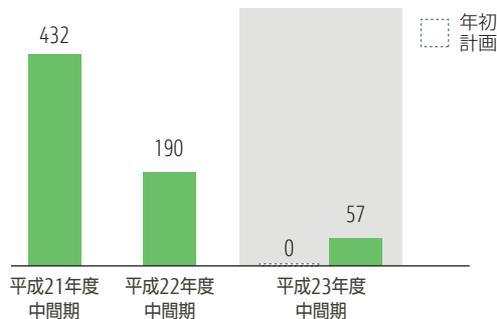
売上高(億円)／海外売上高比率



営業利益(億円)



当期純利益(億円)



※年初計画は本年6月17日に公表したものです。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第112期の中間報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

東日本大震災により被災されました株主のみなさまには、謹んでお見舞いを申し上げます。

当中間期(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)における当社グループを取り巻く事業環境は、新興国を中心とした需要拡大にかけりがみえ始め、欧米では財政・金融不安や雇用情勢の停滞がみられます。国内でも、震災後の企業活動の停滞や個人消費の落ち込みから回復傾向にあるものの、円高の進行など、依然として先行き不透明感が残っております。

このような事業環境のもと、当中間期における当社グループの連結業績は、売上高2兆923億円、営業利益70億円、経常損失20億円、当期純利益57億円となりました。

売上高は、モバイルウェアが想定を上回って推移したものの、電子部品を中心に顧客の在庫調整の影響を受け、年初計画を76億円下回りました。営業利益は、電子部品で売上減の影響はあったものの、全社でコストダウンを進めた結果、年初計画を20億円上回りました。当期純利益は、年初計画を57億円上回りました。

当中間期の配当金につきましては、年初の計画通り、1株当たり5円とし、支払開始日を11月22日とさせていただきます。なお、年間配当は今回の中間配当(1株当たり5円)とあわせ、1株当たり10円とすることを予定しております。

当社は、本年6月17日に経営方針を発表いたしました。

当社グループは、テクノロジーをベースとした、グローバルに統合されたサービス企業となるために、既存ビジネスの強化、グローバル化の加速、新たなサービスビジネスの創造という3つの成長テーマに取り組んでまいります。

クラウドビジネスを中心にサービスビジネスの強化を図るとともに、調達、生産、開発およびサービス提供体制をグローバルな視点で強化し、人に優しい豊かで安心できる社会「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ」の実現につながるビジネスの開発を進めてまいります。

また、業績水準の目標として、「連結営業利益率5%超」、「海外売上高比率40%超」、「フ

リー・キャッシュ・フロー1,500億円超/年」を設定し、達成に向けて取り組んでまいります。

当社グループは、成長にこだわる攻めの姿勢で、お客様にとってICTの新しい可能性をリードするかけがえのないパートナーとなり、株主のみなさまをはじめとしたステークホルダーのみなさまに信頼され、未来を託していただける存在となるよう、取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月

代表取締役会長 間塚道義  
代表取締役社長 山本正己

代表取締役会長  
間塚 道義



代表取締役社長  
山本 正己



目次  
EJITSUWay / ●●●●●  
株主のみなさまへ ●●●●●  
平成23年度の当社グループの取り組み ●●●●●  
当社グループの事業の概況 ●●●●●  
テクノロジー ●●●●●  
ユビキタス / デバイス ●●●●●  
役員状況 ●●●●●  
株式 ●●●●●

B/S, P/L, CF ●●●●●